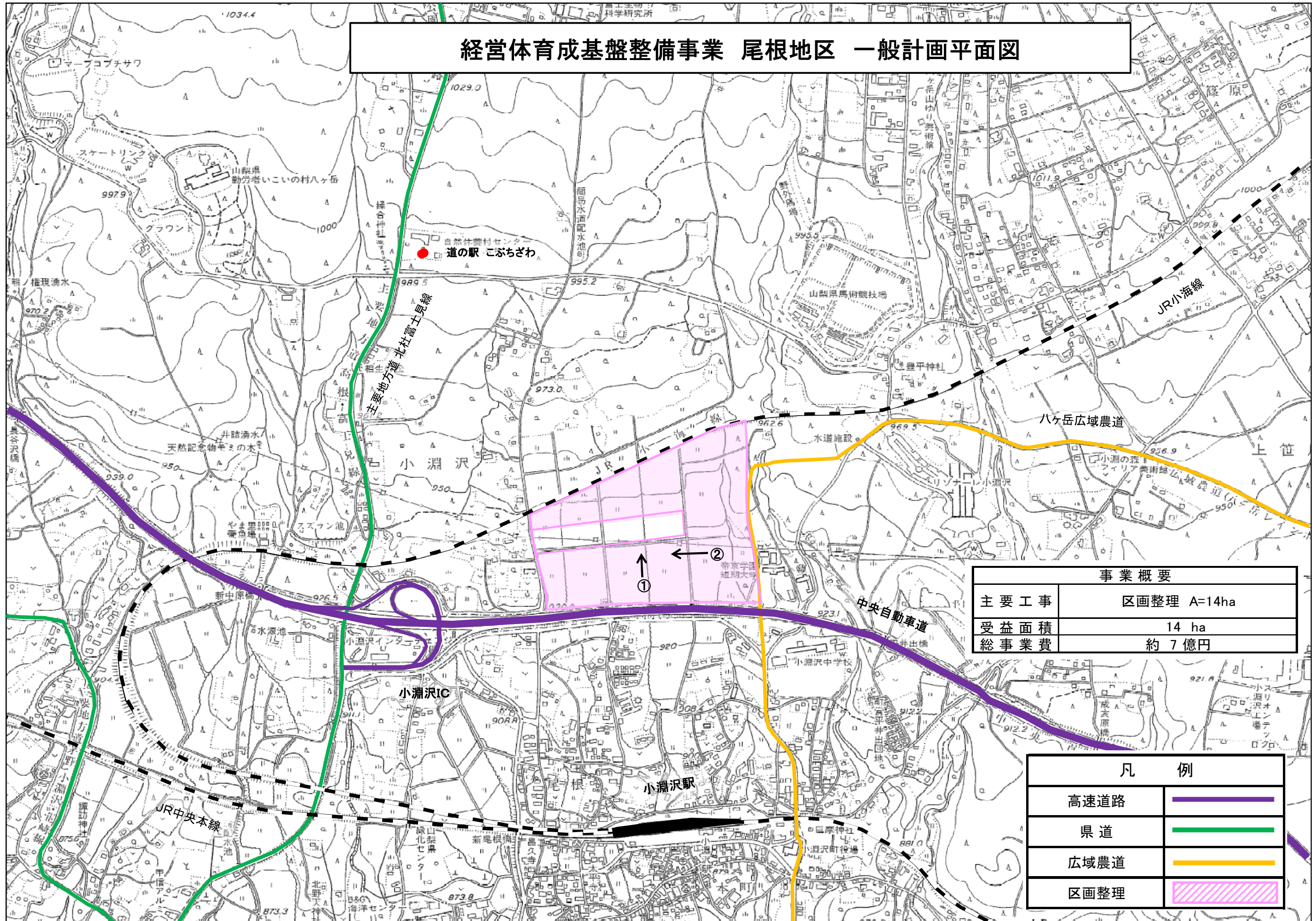


1. 事業説明シート

<b>事業名</b>	経営体育成基盤整備事業	<b>事業箇所</b>	北杜市小淵沢町小淵沢	<b>地区名</b>	おね尾根	<b>事業主体</b>	山梨県
<b>(1) 事業の概要</b> ①課題・背景 本地区は北杜市北西部に位置する水田地帯である。地区内は平成12年4月にオープンした花パーク「フィオーレ小淵沢」として利用されているが、近年では来訪者が減少傾向にあるため、北杜市は農業生産と地域の活性化を結びつけた施策を展開するため、現在の指定管理期間が終了となるのを機に、「フィオーレ小淵沢」を農業生産の場として改良したいと考えている。 北杜市は平成29年5月に「北の杜フードバレープロジェクト推進協議会」を立ち上げて地産地消に取り組むとともに、市内に農業参入している農業法人で構成している「北杜市農業企業コンソーシアム」が持つ販路を市内の農業関係者で共有し、地産全消に取り組みながら農家の所得向上及び農家の安定経営を目指している。 区画整理等の基盤整備の実施により、区画面積の拡大を行うことで優良農地を創設し、多様な担い手とのマッチングを進め、高収益作物への転換や、企業参入による雇用の創設などを行い、地域農業のさらなる展開を図っていくものである。				<b>(3) 事業の妥当性評価</b>			
				②整備目標・効果 □主要目標 ○農業生産力の向上 ・農業所得の増加額 5,224千円/ha ≥ 2,429千円/ha ※ (生産基盤整備により農業所得の増加が図られる。) □副次目標 ○農業用排水能力の向上 ・施設老朽度 (使用年数50年) ÷ (耐用年数30年) = 1.66 ≥ 1.00 ※ ・排水能力向上率 (計画排水能力0.149m <sup>3</sup> /s) ÷ (現況排水能力0.139m <sup>3</sup> /s) = 1.07 ≥ 1.0 ※ □副次効果 ○遊休農地の解消 ○重要プロジェクトとしての位置づけ (新・やまなし農業大綱)			
<b>(2) 整備内容</b> ①整備内容 区画整理 A=14ha ②着手年度 平成31年度      ③完成見込年度 平成36年度 ④総事業費 約700百万円 (国費385百万円(5.5/10)県費193百万円(2.75/10)市費等122百万円(1.75/10)) ⑤年度別の整備内容 (事業費) 平成31年度 測量・設計 20 百万円 平成32年度 区画整理 100 百万円 平成33年度 区画整理 130 百万円 平成34年度 区画整理 150 百万円 平成35年度 区画整理 150 百万円 平成36年度 区画整理 150 百万円 ※記載内容は見込みであり、確定したものではない。 ⑥既整備内容・期間・事業費 ・該当なし				⑤整備手法の有効性 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/> ・受益面積規模、事業対象工種から、経営体育成基盤整備事業で対応することが妥当である。 ⑥環境負荷等への配慮 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/> ・工事の際は、土羽構造を基本とすることで、周辺景観との調和を図る。 ⑦事業計画の熟度 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/> ・早期着工の要望あり 総合評価 <input type="text" value="[貢献度ランク:0]"/>			
				①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/> ・本地区の整備は食料・農業・農村基本法に位置づけられている、農業の持続的発展、食料の安定供給、多面的機能の発揮に資するものであり、行政が行うべきである。			

2. 添付資料シート(1)



## 2. 添付資料シート（2）

①、② 現況状況：花の公園として県内外からの来訪者が訪れている



⑤ 新たな雇用の創出イメージ



- ・基盤整備の実施により多様な担い手に集積可能！
- ・高収益作物への転換による収益力の向上！
- ・農村地域の新たな雇用の創出による地域活性化！

④ 多様な担い手の参入による高収益作物の栽培イメージ



③ 区画整理の整備イメージ

整備前



整備後

